



アジア最大の肉食恐竜 タルボサウルス

岡山理科大学 恐竜学博物館

大きさ、動きリアルに

岡山理科大学(岡山市北区理大町)の「恐竜学博物館」の館長を務める石垣恐・同大教授は、さん太タイムズに「恐竜調査隊が行く」を連載しています。博物館では最新の研究成果などを展示しています。

身元骨格です。アジア最大の肉食恐竜・タルボサウルスは全長約10メートルの巨体を二本の足で支えて歩く様子が分かります。恐竜の大量発見より前に「陸の王者」だった爬虫類・プレストクスは今にもかぶりついてきそうな迫力です。2体はいつでも学生らが作りました。発掘成果や生きた動物との比較などから得られたデータを加え、姿や生態の解説も新しくなりました。石垣教授は「博物館では研究者や学生が化石を岩石から取り出す作業をしていることもあり。恐竜について語り合えるかも知れませんよ」と話しています。



陸の王者だった爬虫類 プレストクス



巨大な足跡

植物食恐竜サウロプテロサウルスのものと思われる足跡(幅・長さともに86センチ)は原寸大。二足歩行の恐竜のものとしては世界最大級。恐竜気分を味わおう



赤ちゃんの集団

幼体(赤ちゃん)の骨は小さく壊れやすいため、化石になるのは珍しいことで。頭や足がどこから来るかな?

体つきは明らかになっています。どんな姿だったのでしょうか



ヨロイ竜・サイカイニアの頭



岡山理科大学 恐竜学博物館

新型コロナウイルスの影響でリニューアルオープンの日程は未定です。最新情報はホームページで確認してください。オープンの開館時間には原則、月～土曜の午前10時～午後4時45分。入館無料。

恐竜学博物館 で検索